

まちなかイベント市場

取り組みに至る背景・事業の目的

地域経済の衰退や中心市街地の活力低下が懸念される中であるが、飯田市独自の「りんご並木」や人形美術館などの文化遺産に立脚した「市場」のような空間を創出して地域再生につなげたいと決意。

これまでの一店逸品運動や起業家育成事業などのNPO活動の実績を生かし、熱いファン層がいるフィギュアに着目し、人形劇のまち飯田に全国から参加者が集まるような魅力的な「フィギュアマーケット」となるよう、地元商店街と協働で開催した。



事業内容

11月3日（文化の日）に飯田市の中心市街地（川本喜八郎美術館周辺）で『インターナショナル・フィギュア・マーケット 2007』を開催。既存の商店街との協働により商店の軒先のテント下でのワゴンセールという形式で実施した。

広く出展者の参加を呼びかけるため、イメージキャラクターを制作、事前のPRイベントや雑誌・新聞記事などで出展者を募った。また、HPによる出店受付、市街地案内、駐車場、宿泊施設等の情報も発信した。



事業効果

当日は、フィギュアのフリーマーケット22店（24ブース）の他に、有名店の「蔵出しお宝市」や「フィギュアを巡る匠たち展」、子供達が参加できる「お絵かきコーナー」なども特設。晴天にも恵まれ予想をはるかに上回る来場者数があり、終日、賑わいが途切れることがなかった。

出展者の半数近くは県外からの参加であり、アンケートではほとんどの方が2008年にも出展希望と答えている。また、推定18000人にも及ぶ来訪者が得られ、「人形のまち飯田」の文化と魅力をアピールするとともに、多くの来場者に中心市街地の魅力を再確認していただけたものと自負している。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

初回ということで、当日の人や車の動きについても全く見当がつかず、蓋をあけるまでは心配な事ばかりであったが、次回からは実績を生かして手際よく準備をすすめることができるものと思う。

また、地域発 元気づくり支援金にて購入したテントやワゴンは現在、まちなかを活性化させる他団体のイベントにも頻繁に貸し出しの声がかかり、中心市街地の賑わいに一役買っている。

なお、当該支援でテントとワゴンは購入できても、イベント自体の運営資金の調達に苦労した。今後、協賛や出展者数を増やすなど、資金不足解消への取組みが課題である。そのためにも新鮮で興味深い企画を盛り込み、イベントの魅力を更に向上させたいと考えている。今後もインターナショナル・フィギュア・マーケットを継続して開催することにより、全国的にも稀有なこのイベントの認知度を高め、定着させていきたい。



【選定のポイント】

伝統文化を継承しつつ、新たな視点から誘客の方向性を見いだした取り組みは、他のモデルとなるものである。

団体名	NPO法人 いいだ応援ネットイデア (飯田市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-56-9335 http://iida-idea.jp	事業費	2,570,000円
		支援金額	2,570,000円